



読書を楽しむ秋

秋は、気温も湿度も下がり過ごしやすい気候で、活動しやすく物事に集中しやすい季節です。紅葉する木々など自然も美しく、食物の実りが多い季節であることなどから、「食欲の秋」「読書の秋」「行楽の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」などと言われます。個人的に最近「食欲の秋」の誘惑に日々悩まされていますが、生活習慣チェックシート結果からも「読書の秋」をお勧めするのに私が好きな本を紹介します。

本の題名は「ようこそドングリおんせんへ」(新日本出版社)です。著者の北村けんじ先生は、上げ馬神事で有名な多度大社がある多度町出身で、ずっと教員をしながら児童文学を書いていらっしゃいました。私が教員になって初めて赴任した桑名郡多度町立多度中小学校(現在は桑名市立)の校長先生でした。いつもにこやかな校長先生でした。そのお人柄のように北村けんじ先生の本には、子どもたちや他の人たちへの温かいまなざしが感じられます。特に「ようこそドングリおんせんへ」では、「りすの忘れたドングリの実が林を造っていくように老人たちの忘れていくことはも知らず知らずのうちに、小さな子どもに残っているはず」と、老いを温かいまなざしで見つめています。低学年から読める本です。でも大人が読んでも心がほんわかする本です。学校の図書室には、この本はありませんが、「五月の絵本」と「くちぶえふいた子だあれ」があります。北村けんじ先生は他にもいろいろな作品を書かれています。市立図書館等に行った時は、ぜひお子様といっしょに読んでいただいて「読書の秋」を楽しんでください。



北村けんじ先生の作品

『なきむしクラスの 1 とうしょう』 『サーカスのただきっぷ』 『ヤチャぼうは三年生』
『小海女のふきちゃん』 『ふたりの夕焼け』 『川ねずみポーの花火』 等

11月の主な行事予定

4日(金) 2年遠足(予備日11日) 7日(月) 委員会 14日(月) クラブ PTA 廃品回収(～18日)
15日(火) 4年社会見学 25日(金) 学校運営協議会 28日(月) 委員会

徒然なるままに ～食べやな生きていかれんからな～

教室をまわっていたら、3年生が社会科で買い物調べの発表をしていました。各自調べてきた買い物品を黒板の模造紙に項目別に分けてシールを貼っていました。「何が多いの?」と聞くと「食料品が圧倒的に多いんさ。」と黒板のシールを見ながら教えてくれました。そして、「食べやな生きていかれんからな。」と一言。大人のような一言をかわいらしくいう姿に「なるほど。」と笑顔で納得しました。